

長崎県保険医協会菜の花会 市民公開文化講演会

丸山遊廓が長崎にもたらしたものは…?長崎の「遊女」のイメージが変わります!

江戸時代の丸山遊廓

講師 活水女子大学教授 **赤瀬 浩** 先生



△▼ プロフィール △▼

1961年生まれ。長崎旧市街の町屋に生れる。長崎大学を卒業後、長崎県公立学校教員として本土や離島の小学校に勤務。傍ら長崎町人の研究に努める。上越教育大学大学院で学び『株式会社長崎出島』(講談社)などを出版。長崎市長崎学研究所長を経て、2023年4月より活水女子大学日本文化学科教授。近著に『長崎丸山遊廓 江戸時代のワンダーランド』(講談社)がある。

日時 2023年 **8月31日(木)**
19:00~20:30

会場 **フコク生命ビル会議室**
(長崎市恵美須町2-3 8階)

参加費 **無料**

申込締切 8月29日(火)

申込先 **長崎県保険医協会**
TEL:095-825-3829

長崎県保険協会は、国民も医師もともに喜べる医療制度の改善をめざす医師・歯科医師で構成する団体です

講師からのメッセージ

江戸時代、丸山遊廓は吉原、京島原、大坂新町とともに4大遊廓といわれていました。

外国人相手につくられた丸山遊廓はほかの遊廓とは全く違う進化を遂げました。

丸山遊廓の特徴や遊廓を取り巻く人々についてご一緒に探ってみませんか。

FAX 095-825-3893

参加申込み

8月31日の講演会に参加を申込みます

■参加者名 _____ 同伴者(_____)名

■電話番号 _____